



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 教育・広報部  
2018年12月3日 No.44

## 西日本豪雨に対する義捐金への御礼

6月28日から7月8日にかけての台風7号および梅雨前線などの影響による集中豪雨は、西日本を中心に甚大な被害をもたらしました。この豪雨により多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生し、亡くなられた方は200名を超え、住宅被害も全壊と半壊あわせて1万棟以上、床上と床下浸水も3万棟以上におよぶなど「平成最悪の水害」となりました。

東日本ユニオンは災害発生直後より関係機関と連携をはかり、被災状況の把握とお見舞いを申し上げるとともに、労働組合として労働者として相互扶助の精神のもと、職場から義捐金の取り組みを広く呼びかけてきました。この取り組みに賛同していただいた組合員をはじめ、家族や職場の仲間みなさんから合計で670,421円の義捐金が集まりました。あらためて御礼申し上げます。

みなさんの義捐金は取り組みの趣旨に基づき、私たちが加盟している鉄道関連産業労働組合協議会の協力のもと、同じ交通運輸部門で働いている被災者への支援として活用していただくべく、交運労協本部を通じ、被災地の岡山県や広島県を中心に活動している中国交運労協に届けました。

私たちの取り組みに対し、中国交運労協の有元議長より礼状をいただきました。

拝啓 虎秋の候、貴組合におかれましては、ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

このたびの平成30年西日本豪雨に対しましては、被災された中国地方交通運輸に関く仲間のため、満腹あふれる御文書お見舞いをいただき、誠にありがとうございました。

本年、7月3日から7日にかけて降り続いた雨は、各地で記録したことがない豪雨となり、河川の氾濫や堤防の崩壊、土砂崩壊などにより、多くの尊い命が失われました。また、広範囲に亘り知床産別組合員の家庭も流出・浸水などで甚大な被害を被り、今もなお避難生活を余儀なくされている状況です。さらには、道路への土砂流入や、橋梁への土砂流入・倒壊など鉄道施設の多くが被災し、国民生活にとって大変な交通インフラが長期にわたり断たれ、人命・物産に大きな支障を及ぼしました。

そのような中、貴組合から送りましたご文書は、何よりの心強い励みとなり、被災された組合員の明日への希望につながるものであります。被災された知床産別の仲間に対しての義援金として有効に活用することといたします。

あらためまして心から感謝申し上げます。

わたくしたち中国交運労協は、「がんばろう、西日本」を合言葉に、一日も早く被災された皆様が元の生活に戻れるとともに、被災・被災対策の強化を念めた災害に強い街づくりの推進に向けて、関係省庁への要請行動に全力を尽くして参りますことを固くお約束します。

引き続きの賑わいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平々静穏の上、ご挨拶申し上げますのが幸甚であります。略儀ながら書中をもってお礼のご挨拶とさせていただきます。

敬 白

平成30年11月22日

中国地方交通運輸労働組合協議会  
議 長 有元 勝也

義捐金の取り組みにご賛同いただき

ありがとうございます

